

教育研究上の目的

【博士前期課程】

＜ 研究者養成コース ＞

（１）教育研究上の目的

- ア 人間の尊厳を基盤とし、広い視野に立って看護学の深奥を究め、保健・医療・福祉環境の変化に創造的に対応できる専門知識と技術及び研究能力をもった人材を育成する。
- イ 実践と研究を通して看護学の発展と島根県の保健・医療・福祉の向上に寄与する。

（２）教育研究上の目標

- ア 高い倫理観と広い視野で看護の課題を科学的に探求し、患者及び家族・住民が自ら課題解決を図れるよう、介入できる看護実践能力を養う。
- イ 長期的展望をもって、患者及び家族・住民の状況を踏まえた最適な保健・医療・福祉サービスを統合して提供できるよう、多職種多機関とのコーディネート力を養う。
- ウ 過疎・高齢化が進展する中山間地域・離島における健康課題に関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組む能力を養う。
- エ 問題意識をもって看護現象を分析し、論理的に探究できる研究力を養う。

＜ 高度実践者養成コース（助産学領域） ＞

（１）教育研究上の目的

- ア 人間の尊厳を基盤とし、広い視野と高邁な倫理観に立って、助産学を取り巻く環境変化に自律して対応できる優れた専門知識と技術及び課題解決能力をもった助産師を育成する。
- イ 優れた助産実践と課題解決によって、助産学の発展と島根県の周産期医療の維持と質的向上に寄与する。

（２）教育研究上の目標

- ア 高い倫理観と明確な看護観をもち、科学的根拠に基づいた判断力と実践力を養う。
- イ 離島・中山間地域をかかえる島根県の周産期医療を維持するために、ハイリスク妊産褥婦・新生児に対応できる優れた助産実践能力及び指導的能力を養う。
- ウ 地域社会の子育て世代とその家族の健康課題を理解し、包括支援ができるための優れた助産実践力および多職種多機関とのコーディネート力を養う。
- エ 助産学における課題を論理的に解決できる能力を養う。

＜ 高度実践者養成コース 診療看護師（NP）プライマリ・ケア領域 ＞

（１）教育研究上の目的

- ア 人間の尊厳を基盤とし、広い視野と高邁な倫理観に立って、社会の環境変化に対応できる専門知識と技術及び研究能力をもった高度実践者としての診療看護師（NP）を育成する。
- イ 実践と研究を通して、看護学の発展と島根県の保健・医療・福祉の課題解決に寄与する。

（２）教育研究上の目標

- ア 在宅、施設、慢性期病棟などで、療養者の状態変化や、慢性疾患をもつ患者に対して、看護学と医学の視点から包括的なアセスメントを行い、的確な臨床判断、治療の管理、治療効果の評価を自律的、かつ必要に応じて多職種と協働で実施できる能力を養う。
- イ 個人や家族の価値観、意思決定を重視してQOL（生活の質）向上を目指し、倫理に基づく、統合的なプライマリ・ケアが提供できる能力を養う。
- ウ 多職種と協働して安心・安全な医療に貢献できる能力を養う。
- エ 実践の場にある課題に対して、論理的に探究し解決できる能力を養う。

【博士後期課程】

（１）教育研究上の目的

- ア 人間の尊厳を基盤とし、広い視野と高邁な倫理観に立って、看護学の発展に寄与する研究を自律的に継続できる研究力と、質の高い大学教育及び継続教育を実現するための教育指導力を兼ね備えた人材を育成する。
- イ 専門的知識・技術を基盤とした科学的根拠に基づく研究成果を産出し、看護学の発展と島根県及び我が国の保健・医療・福祉の向上に寄与する。

（２）教育研究上の目標

- ア 看護専門職者として必要な高い倫理観と論理的思考力をもち、看護学の発展に寄与する研究を自律して行える。
- イ 生涯にわたり研鑽の必要な看護教育学に精通し、高度な専門的知識・技術と教育指導力をもって質の高い教育を展開できる。
- ウ 過疎・高齢化が進展する中山間地域・離島地域における健康課題を把握し、健康栄養など地域のニーズに合った保健・医療・福祉施策の進展に向けた研究的取り組みができる。
- エ 看護ケアが提供される場に関与する多様な要因を把握して、看護提供システムの改善・改革を目指した研究を指導できる。
- オ 看護の専門分野における多様かつ複雑な問題の研究的解明とその成果を適用しつつ、多職種と連携し研究活動を推進できる。